

國學院大學學術情報リポジトリ

ビジネス会話における感謝表現の対照研究：
日中経済小説を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 周, 乗風 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001470

ビジネス会話における感謝表現の対照研究 — 一日中経済小説を中心に —

周 乗 風

論文要旨

かんしゃひょうげん
感謝表現は日常生活でよく使われる表現の一つであるが、ビジネス場面では、大量の敬語が用いられる上、改まった表現の使用も特徴的である。自然なビジネス会話かいわに触れるチャンスの少ない日本語学習者にとっては、ビジネス敬語は習得困難であると考えられる。ところが、ビジネス日本語資料の実物はなかなか入手困難で、ビジネス会話の教科書だけで実際のビジネス日本語に触れられるとは言えない。

本論文は、自然なビジネス会話を反映する経済小説けいざいしょうせつに注目し、そこに見られる「ありがとうございます」、「お礼申し上げます」のような感謝の定型表現と、感謝の場面で使用される謝罪表現、喜び表現などをまとめ、ビジネス会話に出現する感謝表現の全体像を把握する。また、中国語の経済小説と対比し、異文化理解いぶんかりかいの視点から対照研究たいしょうけんきゅうを行う。

キーワード

かんしゃひょうげん 感謝表現、かいわ ビジネス会話、けいざいしょうせつ 経済小説、いぶんかりかい 異文化理解、たいしょうけんきゅう 対照研究

1 はじめに

感謝表現は日常生活でよく使われる表現の一つであり、人間関係の維持などの役割を持つ。ビジネス場面でも多用され、会社間の付き合い、上下関係の維持、企業イメージと企業文化の中で重要な役割を果している。とくに企業文書の中の言葉遣いは企業文化・習慣を反映し、会社の社会的イメージにもつながっている点から、言語研究とビジネス言語教育の重要なテーマであると考えられる。また、近年では日本企業を就職先として考慮に入れる中国の大学の日本語専攻学生が増え、ビジネス会話は彼らにとって重要なスキルとなりつつある。

ところが、ビジネス日本語資料の実物はなかなか入手困難で、ビジネス会話の教科書だけで実際のビジネス日本語に触れられるとは言えない。そこで、自然なビジネス会話を反映する経済小説に注目し、そこに出現する感謝表現の使用状況をまとめ、中国語の経済小

説と対照研究しながら、ビジネス会話における感謝表現の全体像を把握する。

2 感謝表現の分類と調査対象について

2.1 感謝表現に関する先行研究

従来の感謝表現に関する対照研究は、発話行為としての分析が一般的で、日常会話或いは録音資料を資料としての研究が多い。ビジネス日本語における感謝表現についての研究は見当たらない。小説における感謝表現について、李（2014）は日本と中国の小説を資料として、感謝の言語行動について研究をしている。しかし、職場の会話と日常会話は大きく異なる場合が想定されるし、特に上下関係の厳しい日本語の職場では言葉使いの正確さと慎重さが更に目立っている。

周（2016）は日中ビジネス文書における感謝の定型表現について考察している。日本語ビジネス文書における感謝表現の形式と修飾語は豊富であり、とくに「お礼申し上げます」「感謝しております」などの定型表現は書き言葉では多く見られる。一方、中国語のビジネス文書では、感謝表現の形式が少ない上に、「谢谢」「多谢」の感謝表現は話し言葉でも多用されている。日本語ビジネス文書における感謝表現には「文頭挨拶」「文末挨拶」のような特徴的な用法が目立ち、それらには相手への配慮と日本企業の習慣が見られる。本研究は周（2016）の結論と比較しながら、ビジネス会話における感謝表現の対照研究を試みる。

2.1.1 感謝表現の定義と分類

感謝表現について岡本（1991）では、感謝を「相手の何らかの行動が、話し手に利益を与えた場合に、それに対してなされる言語行動である」と定義し、更に岡本（1992）は「相手の何らかの行動が、話し手に何らかの利益をもたらした場合に、お返しとして行われる言語的コミュニケーションである」と定義している。ここでいう相手の行動には、労力・技術の援助、金品の授与などのほか知識の提供、話し手の賞賛すること、話し手との友好関係の表明等の言語行動も含まれる。話し言葉における感謝表現の種類について佐久間（1983）と岡本（1992）によれば以下の4つに大きく分けられる。

① 慣用的な定型表現

例：（どうも）ありがとう / （どうも）すみません / どうも / 悪い / サンキュー

ここは「ありがとう」のような言語内容的にも感謝を表明する型（感謝型）と「すみません」「悪い」のような、言語内容としては謝罪を表明しており、謝罪

場面と共通に用いられる型（謝罪型）の分類を考えることができる。

② 事実関係の叙述——話し手が受けた利益を叙述する

例：先だっちはいろいろご教示頂きまして / ほんとうに何から何までお世話になりました / あなたのおかげよ / 手伝ってもらって助かった

③ 話し手の気持ちを叙述——利益や好意を受けた話し手の「喜び」や「恐縮」の気持ちなどを述べる

例：（誕生日の贈物をくれた友人に向かって）うれしい / （送別会を開いてもらって、あいさつの中で）本当に幸せに思っております

④ 言葉にならない表現——喜びの念から来る興奮・緊張のために、表現が初めもしくは途中から言葉にならない。

2.1.2 感謝の定型表現と感謝のストラテジー

赤堀（1995）と秦（2002）は佐久間（1983）と岡本（1992）の分類に基づき、感謝表現を定型表現と定型以外の表現に分類している。感謝の定型表現は決まり文句のように直接使う表現であり、最も一般的な感謝表現と言える。李（2014）は更に赤堀（1995）と秦（2002）を参考にして感謝の定型表現を細分化している。本研究は李（2014）と秦（2002）における感謝の定型表現の分類を参考にする。李（2014）と秦（2002）の分類によれば感謝表現の定型表現の具体的な分類は以下ようになる。

- ① 感謝の気持ちの表出：ありがとう、お礼、感謝する…
- ② 申し訳ない気持ちの表出：すみません、恐縮、悪い…
- ③ 慰労の念の表出：ご苦労様…
- ④ 恩を蒙ったことの表出：恩に着る…
- ⑤ 面倒をかけたことの表出：お世話…
- ⑥ 利益を受けたことの表出：おかげ、助かる、ご馳走する…

感謝のストラテジーについて、赤堀（1995）はアンケート調査を通して、日本語母語話者の感謝のストラテジーを以下のように分類している。

1. 感謝行為に関する言及

- a. 感謝する旨の表明 e.g. 「ご協力に感謝します。」
- b. 感謝の必要性の表明 e.g. 「あなたには感謝しなくちゃね。」
- c. 感謝の意志の表明 e.g. 「昨日のお礼を言いたくて。」
- d. 感謝の方法を知らない旨の表明 e.g. 「何とお礼を言えばいいのか。」

2. 心的態度の表明

- a. 驚き・喜びの気持ちの表明 e.g. 「いやー、うれしいわー。」
- b. 感謝の気持ちの直接的表明 e.g. 「ありがとうございます。」
- c. 恐縮の念やすまないという気持ちの表明 e.g. 「すみません。」

3. 感謝の対象事物への言及 e.g. 「私にまで気を使ってくれて…」

4. 負担に関する言及

- a. 相手の負担への言及
e.g. 「これ手に入れるの大変だったんじゃないですか。」
- b. 負担をかける／かけた旨への言及 e.g. 「お手数かけました。」
- c. 行為・気遣いの不必要性への言及 e.g. 「気使わんでもええに。」

5. 利益に関する言及

- a. 利益内容への言及 e.g. 「やー、何とか間に合ったわー。」
- b. 利益の有効利用に関する言及 e.g. 「ぜひ参考にさせていただきます。」

6. 返恩の申し出 e.g. 「今度晩飯おごるわ。」

7. プラス評価

- a. 相手自身へのプラス評価 e.g. 「さすがー、お父さん。」
- b. 関係事物へのプラス評価 e.g. 「おもしろそうやなー。」
- c. 念願の事物である旨の表明 e.g. 「あ、これみたいな一思ってたん。」

8. 相手（またはそのウチの人物）が授益者であることの明示

- a. 利益のもたらし手の明示 e.g. 「あんたのおかげよ。」
- b. 相手の存在、行為の不可欠性への言及
e.g. 「○○ちゃんがいなかったら間に合わなかったよ。」

上述の2bのように「ありがとうございます。」は感謝の気持ちの直接的表明に分類しているが、実際の会話では慣用表現は他にも存在し、慣用表現と他のストラテジーが共起するケースが多いと考えられる。本研究は以上のストラテジーの分類を参考にし、日本語のビジネス会話における感謝のあり方を探る。また、本研究は日本語の感謝表現を「感謝型」、「謝罪型」、「その他の定型表現」、「その他の表現」に大きく分類する。中国語の感謝表現を「感謝型」と「その他の表現」に分類する。

2.2 日中経済小説の特徴と現状

日本の経済小説は長い歴史を有している。20世紀中葉、城山三郎は『総会屋錦城』（単

行本1959)などの作品を発表し、経済小説は新しい分野として世間に広がり始めている。城山三郎は経済小説の開拓者であり、彼の名を冠するダイヤモンド社¹が主催する「城山三郎経済小説大賞」は経済小説界の有数の大賞である。21世紀には、池井戸潤、江上剛などの新鋭作家が頭角を現し、様々な業種と題材の経済小説が盛りだくさんになりつつある。

日本の経済小説の業種と分野は豊富であり、業種別に研究することも可能で、言語研究に適する研究対象と言えよう。

一方、中国の経済小説は「商戦小説」「職場小説」(または「職場商戦小説」と呼ばれているのが一般的である。日本の経済小説の長い歴史とその題材の豊富さに対し、中国語の経済小説は近年現れてきた新しい分野であり、市販されている作品の数は少ない。

市販されている中国の経済小説の中から代表的なものを2シリーズ計4冊を選定し、今回の調査資料とする。その概要は次の節に示す。

2.3 調査資料と調査方法の概要

調査対象とする経済小説の概要を表1にまとめておく。

表1 調査資料の日中経済小説の概要

	作品名	著者	主要場面	シリーズの特徴
日本語	①『オレたちバブル入組』 362ページ	池井戸潤	不良債権回収	衝突する場面が多い 主人公は常にビジネス敬語で喋っている 社内、社外、同僚間の会話場面が豊富である
	②『オレたち花のバブル組』 367ページ	池井戸潤	不良債権回収	
	③『ロスジェネの逆襲』 421ページ	池井戸潤	企業再生	
	④『銀翼のイカロス』 373ページ	池井戸潤	企業再生、債権放棄	
中国語	①《輸贏》 372ページ	付遥	競争入札、販売	中国最初の経済小説と呼ばれている 中国の四大「職場商戦小説」の一つと呼ばれている 外資企業を描く作品であるが、登場人物のほとんどは中国人である
	②《輸贏2》 448ページ	付遥	競争入札、販売	
	③《对决》 298ページ	许韬	競争入札、販売	中国の四大「職場商戦小説」の一つと呼ばれている 社内の上司と部下間の会話・同僚間の会話が多い、社外の場面はやや少ない
	④《对决2》 310ページ	许韬	競争入札、販売	

※日本語の作品は以下日①、日②、日③、日④とする。

※中国語の作品は以下中①、中②、中③、中④とする。

日本語の調査資料で選んだのは、近年大人気の「半沢直樹シリーズ」で、ドラマ化もされ、多くの日本語学習者に名を知られている。その原作である『オレたちバブル入行組』『オレたち花のバブル組』『ロスジェネの逆襲』『銀翼のイカロス』シリーズ4冊は半沢直樹という銀行員を描く作品で、近年の経済小説の代表作である。

そして、中国語の調査資料である『輸贏』と『対決』の両方とも中国の「四大商戦小説」の一つと呼ばれている。中国の経営／経済小説でベストセラーになり、商戦小説という新しいジャンルの中で有数の傑作である。

上述の調査資料を選んだ理由は以下の通りである。

- 1、日本語資料の著者は元銀行員で、ビジネス敬語やマナーに詳しいと考えられる。
- 2、中①、中②の「輸贏」シリーズと中③、中④「対決」シリーズ両方とも作者に長年の販売職と管理職の経験がある。とくに「輸贏」シリーズは著者の実の経験を描いた作品であり、中国の職場を忠実に反映している作品であると言えよう。
- 3、日本と中国の経済小説両方とも社外、社内、同僚間の私的会話など豊富なシチュエーションがある。
- 4、上司→部下、部下→上司のような上下関係によって会話が感謝表現と感謝のストラテジーが変わってくる。日本語資料はシリーズ全四冊に亘り、主人公の肩書の変化によって、ビジネス会話における感謝表現の適用性と様々な機能の変化が見られる。

ビジネス会話と感謝表現の対照研究の資料としての不向きな点

- 1、小説はドラマチックな展開と人物の個性を重視するため、言語上の誇張が避けられない。
- 2、感謝表現を地の文で省略することが多い。

今回の研究はビジネス会話であるため、小説の中の地の文の部分を対象外にし、会話の部分のみ研究するのが趣旨である。ところが感謝表現は挨拶・お返しの言葉の形式で出現することが会話中に多いため、小説の地の文で省略することが日中経済小説とも見られる現象である。

次の節から、日本と中国の経済小説を対象とし前述の分類によって、ビジネス会話における感謝表現の考察を行う。例文収集の方法は日本と中国の経済小説から感謝表現を例文として抽出し、文法形式と場面分析からそれぞれの使用の状況と傾向を考察する。

3 日本の経済小説における感謝表現

3.1 感謝型

感謝型表現は最も典型的な感謝表現であり、話し手の謝意が明確である。相手に直接に感謝の意を伝えることで、取引先や社内あるいは同僚間などの人間関係がより円滑になるような機能を持っている。日本語の経済小説では、様々な感謝型表現が出現し、多くの場面で異なる機能を果たしている。以下に表現ごとに幾つかの場面を取り上げ、感謝型表現を細かく分析していく。

ありがとう

今回調査した日本の経済小説において最も使われている感謝の定型表現は「ありがとう」である。形式からみると、典型的な「ありがとう」「ありがとうございます」「ありがとうございました」と、「ありがとうな」「ありがとうよ」のような終助詞と共起する例が見られる。その他、調査対象の日①の舞台は関西であるため、関西方言の「ありがとうさん」が1例見られる。

(1) 半沢：決算書どうもありがとうございます。ところでちょっとお伺いしたいことがあるんですが、よろしいでしょうか。

波野：は、はい。私でわかることでしたら。

(日① P43 主人公→融資先の課長 社外)

(2) 広重：昨日は二村にご用命をいただきまして、誠にありがとうございます、社長。

私ども大至急、対策を検討いたしまして、本日はそのご提案に参った次第でございます。

瀬名：それはありがとう。

(日③ P105 営業部長→社長 社外)

上述の二つの場面は、いずれも社外のやり取りの場面である。感謝の意を表すによって、依頼や用事がスムーズにできるような機能がある。

用例(2)では、登場人物の瀬名は社長であり、自分より下位の人に対して敬体を用いず、普通体を使用している。社内の上位者に対する場合は、(3)、(4)のような例が見られる。

(3) 伊佐山：目的のためなら手段を選ばない男です。あの半沢というのは。しかし、今回ばかりは少々調子に乗り過ぎましたねえ。

(88)

三笠：いろいろありましたが、本当にありがとうございました、副頭取。

(日③ P348 部長→副頭取 社内 辞令)

(4) 三笠：お声をかけていただきまして、[a] ありがとうございます。

中野渡：声をかけたのは、君たちにも言い分があるのかも知れないと思ってね。

三笠：[b] ありがとうございます。

(日③ P397 [a] 副頭取→頭取 [b] 副頭取→頭取 社内)

今回の調査では、敬体の「ありがとうございます」「ありがとうございました」はすべて社外のやりとりまたは上位に対して用いている。

それに対し、

(5) 中野渡：今回の件はご苦労だった。

いろいろ面倒なことをやり遂げてくれた、ありがとう。私からひと言、その礼をいいたくてね

(日④ P369 頭取→主人公(次長) 社内)

の場面では、中野渡頭取は仕事を遂げた半沢に対して普通体を用いている。

(6) 貝瀬：ち、ちがう。私としても精一杯、あんた方のことを考えていつてるんだ！

半沢：それは [a] ありがとうよ。だがな、自分に都合の悪い報告書を提出してきた次長を更迭すれば解決すると思うような人間に役員の資格はない。近藤、どうする？

近藤：オレは一

半沢：銀行に戻れというのなら戻るだけさ。いまさらタミヤ電機に居残れというわけでも、もう人間関係の修復は難しからな。

というわけだ、貝瀬さん。心遣い [b] ありがとう。

(日② P299 [a] [b] 主人公→貝瀬社長 社外)

の場面では、半沢は出向先の社長に対して普通体を使用している。

(7) 半沢：心配してくれて、ありがとよ。

渡真利：なんとかしろ半沢。ヤバいぞ。

(日① P103 主人公→親しい同僚 同僚間の会話)

(8) 渡真利：開投銀民営化案、閣議決定！

半沢：知っているよ。ありがとな。

(日④ P219 主人公→親しい同僚 同僚間の会話)

他の同僚間の会話では、用例 (7)、(8) は主人公が同期に入行した親しい同僚に対して、普通体の「ありがと」を使っている。「ありがと」は「ありがとう」より敬意は更に低いが、音声上の違いはほとんどなく、実際の会話では区別つきにくいと思われる。

(9) 竹下：ありがとうさん。

半沢：こちらこそ。

(日① P339 社長→主人公(課長) 社外 関西方言)

他に、用例 (9) の場面では、登場人物の竹下社長が半沢に対して関西方言の「ありがとうさん」を使用して感謝の意を表している。調査対象の日①の舞台は関西であり、関西の企業の言語状況を描写している可能性もあるが、主として共通語で会話を描く小説におけるビジネス場面ではこのような例はあまり見られないと考えられる。

ありがたく、ありがたい

「ありがたく」、「ありがたい」は感謝の意を表すと同時に、相手へのプラス評価/自分の気持を表出することもできる。経済小説の中での使用は希少であるが、以下のような特徴的な例が見られる。

(10) 湯浅：…あの経営陣の刷新でどんなことが起きるのか、大東京ホテルがどうなるのか、正確に見抜いていたのは君だけだ。だから、他行が引いても、勇猛果敢に支援してくれたと思う。

半沢：お言葉はありがたく頂戴いたします。でも、そんな大したもんじゃありませんよ。あえていえば、バンガーとしての嗅覚みたいなものです。

(日② P91 主人公→融資先の社長 社外)

(11) 松岡：半沢次長にはいつも情報を頂いている恩がありますから、たまにはお返ししようとおもいまして。

半沢：それはありがたい。

(日② P334 主人公→記者 社外 返礼)

(10) の場面は半沢が相手の自分に対する褒め言葉の返礼である。相手の善意や厚意に

(90)

対して感謝しつつ、ありがたいことであると表明し、相手の好意を受け取る表現である。(11)の場面は、登場人物の松岡記者は情報を提供した半沢に対し、直接に感謝表現を使わず、恩を返そうという姿勢から、半沢はお返しの言葉として「ありがたい」を使用し、相手の好意を受け取り、心的態度を表している。

(12)瀬名：その業務提携の件なんですが、どのようなことをお考えでしょうか。もし、具体的なプランがあれば即座に検討に入りたいと思います。

郷田：それはありがたい。詳細に後日まとめてお願いするつもりでおります…

(日③ P145 社長→社長 社外)

また、(10)は敬体を使用するのに対し、(11)と(12)は普通体を使用している。「ありがたく／ありがたい」は直接的に感謝の意を表すより、話し手の心的態度を示している。

「ありがとう」と「ありがたく／ありがたい」の出現場面からみると、社外場面、社内場面、同僚や親友間の会話など様々な場面で出現し、表現も豊富でバラエティが見られる。

感謝する

上述の「ありがとう」と「ありがたく／ありがたい」と異なり、定型表現の「感謝する」の出現場面はかなり限定されている。

(13)平山：東京スパイラルの事業内容については、私たちがなりにリサーチは済ませました。この買収が実現すれば、弊社は一段と飛躍できるはずです。ぜひ御社にアドバイザーになっていただき、この買収戦略を成功させたい。

諸田：いやあ、いいお話を頂戴し、感謝しますよ、社長。

(日③ P13 次長→取引先の社長 社外)

(14)東田：そや、会社設立の目処がたって、取引銀行が決まったらそっちに移しますわ。まさか、わざわざ東京の外資系証券会社にそれだけの金額を預けてるとは、債権者の誰一人思わんやろ。ほんと、ええアドバイスをくれたな、浅野さん、感謝、感謝や。

(日① P270 取引先の社長→支店長 社外 関西方言)

(15)渡真利：えー、私は、父の会社を救ってくれた銀行に感謝しています。そして、いつか自分の手で銀行という組織を動かし、社会に貢献してー

半沢：うるせえんだよ、渡真利。

(日① P288 主人公の言葉の引用 親友間の会話)

(16) 森山：…最高の仕事、させてもらった、感謝してる。

瀬名：それはよかった。

(日③ P386 営業企画部調査役→取引先の社長(親友関係) 親友間の会話)

上述の場面のよう、「感謝する」は社外の場面でほとんど使用せず、用例(13)、(14)の個人的な会話、(15)、(16)の同僚、親友間の会話で用いられる。特に(13)は次長→取引先の社長という社外の場面であるが、話の内容は私的会話になっているため、他の「感謝」と同じ機能を有している。

礼を言う

「礼を言う」は話し手の感謝の姿勢を示す場面で多く用いられる。以下、例文を幾つか挙げる。

(17) 半沢：すみません。お忙しいところご足労いただきまして。

戸越：ウチも出資してる相手だ。むしろ、教えてもらって礼をいいたいぐらいさ。

(日② P163 主人公(営業次長)→財務課長 社外)

(18) 半沢：仮にも金融当局の人間が、一般企業の破綻情報を軽々しく口にするなど認識不足でしょう。

黒崎：勘違いしないでもらいたいわね、半沢次長。ナルセンに関する情報は、伊勢島ホテルの業績についてあなたの理解不足を指摘するために、わざわざ披瀝したにすぎないのよ。むしろ、お礼をいってもらいたいくらいだわ。

(日② P224 金融庁検察官→主人公(営業次長) 社外)

(17)では、半沢は出向先の戸越と相談する際に、感謝の意を込めて謝罪表現の「すみません」を使っている。返礼として「礼をいいたい」と自分の感謝の意を表す。ところが(18)では、「お礼をいってほしい」という相手への謝意を表すはなく、相手に感謝されたいという多少嘲った表現である。つまり聞き手の感謝の姿勢を強いる例外的な用例である。

(19) 森山：礼を言わなきゃいけないのはオレのほうだ。

この仕事させてくれて、本当にありがとうな。

(日③ P351 営業企画部調査役→取引先の社長(親友関係) 親友間の会話)

(20) 森山：それよりオレからも礼をいうよ。最高の仕事、させてもらった、感謝してる。

瀬名：それはよかった。

(日③ P386 営業企画部調査役→取引先の社長(親友関係) 親友間の会話)

(21) 伊佐山：それにしても今回の件、平山さんの資本参加をご了承されたご英断があったからこそ可能でした。改めてお礼申し上げますよ。

(日③ P192 証券営業部長→社長 社外)

(22) 中野渡：今回の件はご苦労だった。

いろいろ面倒なことをやり遂げてくれた。ありがとう。私からひと言、その礼をいいたくてね。

(日④ p369 頭取→主人公(営業次長) 社内)

用例(19)、(20)は登場人物の森山が仕事を提供してもらった瀬名社長に使う「礼を言う」の感謝表現である。森山と瀬名社長は高校時代の同級生で親友であり、お互いの言葉使いは普通体を使っている。それに対し、(21)のようなよりフォーマルな場面で、取引先の社長に対して敬意の高い「お礼申し上げます」を使用している。これは「ありがとう」「感謝する」と同様に直接的に感謝の意を表す表現で、周(2016)の調査によるとビジネス文書で多用される書き言葉の表現であるが、話し言葉ではやや大袈裟に受け取られ、用例も希少である。

以上、今回調査した四冊の日本の経済小説から、感謝型表現の「ありがとう」と「ありがたく/ありがたい」、「感謝する」、「礼を言う」を調査した。三つとも慣用表現として受けられているが、使用頻度が大きく異なる。「ありがとう」と「ありがたく/ありがたい」の用例数は42例、全用例の44.6%を占めるのに対し、「感謝する」、「礼を言う」の用例はいずれも5例であり、それぞれ5.3%を占めている。フォーマルな場面あるいは社外のやり取りでは「ありがとう」と「ありがたく/ありがたい」の使用が多いのに対して、「感謝する」、「礼を言う」は(10)、(16)以外は同僚、親友間の会話で使われている。

3.2 謝罪型と「恐縮」(恐れ入る)

3.2.1 表現形式

感謝行動は、相手から利益や好意を受けた場合に生じる。しかし、これはあくまでも感謝行動の「契機」に過ぎず、必ずしも感謝の言語行動を引き起こすわけではない。日本語では「感謝場面で謝罪表現が使用される」ことがよく観測できる（感謝が契機となって謝罪の言語行動を引き起こす）。ビジネス会話の場面でも、このような現象は少なくない。以下、今回調査した経済小説からの例をあげる。

すみません、申し訳ない

(23) 平山：本日お時間をいただきまして申し訳ない。

(日③ P11 取引先の社長→営業企画部次長 社外)

(24) 瀬名：お忙しいところ、貴重な時間をいただきましてすみませんね、郷田さん。

郷田：いえ、本来なら私から謝罪にお伺いすべきでした。

(日③ P250 社長→社長 社外)

上述の二つの場面ので、(23)の登場人物の平山社長が講演する場面と(24)の郷田社長が瀬名社長と対面する場面では、謝罪表現の「申し訳ない」「すみません」が使われている。このような表現は、相手の負担に配慮して謝罪することによって感謝の意を表すことができる。具体的に、「聞き手の時間を費やした」という謝罪の意と「時間をいただきましてありがとうございます」という感謝の意も込めて、低い姿勢から対人的配慮を示している。今回調査したすべての例文で、8例が「すみません」「申し訳ない」(普通体の「すまん」「すまなかった」「申し訳ない」も含む)のように「相手から時間を頂いた」時に使う謝罪型表現である。

恐縮、恐れ入る

(25) 郷田：東京スパイラルさんと資本関係をベースに業務提携することはウチにとって戦略上の意味がある、大洋証券さんはなかなかいいところに目を付けたものだ。

森山：恐れ入ります。

(日③ P145 社長→営業企画部調査役 社外)

(26) 伊佐山：ポイントを押さえていただき、恐縮です。

なにしろ、その辺が肝心なところでして。相手を警戒させてはマズイですから。

郷田：承知しております。

(日③ P191 証券営業部長→社長 社外)

「恐縮」と「恐れ入る」の本来の意味は自分の悪かったことについて、また相手の好意に対して身も縮むほど恐れ入ることである。これによって、「恐縮」と「恐れ入る」は「すみません」のように相手に直接的に詫びていないものの、自分を低い姿勢にして、申し訳ない気持ちで相手の好意を受け取る表現である。特に日本の職場という上下関係の厳しいところでこそ、このような表現が現れると言えよう。

今回の資料では感謝表現としての「恐縮」と「恐れ入る」の出現場面はわずか二つである。(25)は相手からの褒め言葉に対し、それを慎重に受け取るような表現である。(26)は相手から受けた恩恵に対し直接に謝罪のストラテジーを使用している。2例とも自分より上位の人に対して「恐縮」と「恐れ入る」を使用している。

3.2.2 面会の場面と感謝表現の関係

ビジネス会話ではよく(17)のような面会の挨拶の言葉が用いられる。こういう場面は「感謝」と「謝罪」の境界線は非常に曖昧である。例えば相手と面会する時の挨拶として「忙しいところ」「わざわざ」などの表現で相手への配慮を示し、後に「時間を費やす/時間を戴く」の事実によって感謝と謝罪表現が変わってくる。以下には日本語経済小説の面会時のパターンを分けてそれぞれ感謝と謝罪の成り立ちを考察する。

時間を戴く(相手から利益をもらう)

- a. 本日は貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。(日④ P82)
- b. お忙しい中野渡頭取に、わざわざお時間を頂戴して恐縮ですねえ(日④ 279)
- c. お忙しいところ、お時間をいただきま申し訳ありません(日③ P377)

時間を費やす(相手に負担をかける)

- d. 忙しいところ/お工作中、突然お伺いして恐縮です。○
- e. 忙しいところ/お工作中、突然お伺いしてありがとうございます。×
- f. 忙しいところ、突然お伺いして申し訳ない。ちょっといいかな(日② P185)

負担と利益の関係が不明

- g. お忙しいところ/お工作中、ありがとうございます。×
- h. お忙しいところ、恐縮です。(日④ P54)
- i. お工作中、申し訳ありません(日① P117)

以上の考察によって、面会時の感謝表現は、相手からの利益をもらう時にしか使えないことが明らかになる。表現としては「感謝型」「謝罪型」の両方が使える。d、f、h、iは感謝の契機がなく、謝罪表現しか使えない。

3.3 その他の定型表現

おかげで、おかげさまで

例文を以下に示す。

(27)戸越：今回は半沢さんの [a] おかげで伊勢島ホテルは九死一生を得た。

半沢：どんな窮地にあっても必ずどこかに解決策はあるもんです。湯浅社長の [b] おかげですよ。

(日② P356 [a] 担当先の財務課長→主人公(次長) [b] 主人公(次長)→担当先の社長 社外)

「おかげ」は相手から受けた行為や利益を強調し、話し手の感謝の気持と敬意を表す。文脈を見ると、感謝の契機が不明確で、「謝意を表す」より相手に対する「お世辞」に近い表現であり、相手の好意などに配慮しながら感謝している。(27)は登場人物の戸越が助けてくれた半沢に対して感謝する場面である。戸越の「おかげ」の感謝表現に対し、半沢も同じ表現で返しの言葉として、戸越の上司である湯浅社長に感謝の意を表している。定型表現の「ありがとう」などより感謝の意が低いと捉えられる。

また、「おかげで / おかげさまで」は相手から好意や恩恵を受けていなくても使用できる。とくに相手に皮肉を言う場面で「おかげ」の使用が目立っている。

(28)東田：浅野さんは見かけによらず、たまにとんでもない失敗しでかすところがあるからなあ。株の件もそうや。まあおかげで、こっちの計画倒産は大成功したわけやけど。

(日① P232 社長→支店長 社外 皮肉)

のような場面では、登場人物の浅野支店長が株の信用取引によって大損をだしていることに対し、東田社長が皮肉の口調で相手の痛いところを突く。ここの「おかげ」はある程度感謝の意を込めているが、一般的なビジネスでは使用しないと考えられる。岡本(2000)は皮肉とお世辞の違いは、話し手の気持ちは真か偽によって変わってくると指摘している。つまり、このような「おかげ」の用法は、話し手の感謝の気持ちは偽で、字面だけが感謝表現になっている。

(96)

ご苦労様、お疲れ様

「ご苦労様」「お疲れ様」は相手に慰労の意を表す時に使用する感謝表現である。とくに「ご苦労様」は職位の高い人物から自分より下位の人に対して、「ありがとう」など一般的な慣用表現を避け、感謝の意を表す。ビジネス会話の場面では多く使われている。

(29) 中西：課長、お願いします。

半沢：ご苦労様。早速、見せてもらう。

(日① P36 課長→一般職員 社内)

(30) 野田：社長、いま終わりました。

田宮：ご苦労さん。

(日② P114 社長→課長 社内)

用例 (29)、(30) の場面いずれも「課長→一般職員」、「社長→課長」のような上位→下位の会話である。

(31) 半沢：それはお忙しいところ、ご苦労様。

原田：いえいえ、こちらこそ仕事を増やしていただきましてありがとうございます。

(日② P99 主人公→担当先の財務部長 社外 皮肉)

(32) 半沢：どうやら黒崎検査官には、なんらかの錯誤があったようです。お忙しいところ、お疲れ様でした。

(日② P279 主人公(次長)→金融庁主任検察官 社外 皮肉)

他に、用例 (31)、(32) の場面は (28) の「おかげ」の皮肉を言う用法と同じく特殊な場面である。(31)では半沢と出向先の財務部長の原田がお互いに皮肉するような場面である。(32)は、失態した黒崎検査官に対し、傍らで一部始終を見た頭取に「お疲れ様でした」を使用し、多少黒崎検査官への皮肉を込めている。

お世話になる

「お世話になる」のような表現は実際に相手から助けてもらったり日頃から受けている恩恵に対して用いられる。過去形の「お世話になりました」は「今まで受けた厚意に対する感謝」の意を表し、ビジネス場面では会社の辞令、問題解決などお世話になった上司同僚への感謝表現である。用例は以下に示す。

(33) 渡瀬：あ、お世話になってます。

近藤：お忙しいところ、突然お伺いして申し訳ない。ちょっといいかな。

(日② P185 顧問税理士→総務部長 社外)

(34) 諸田：ありがとうございます。

岡：まあ、頑張ってくれ。

諸田：お世話になりました。

(日③ P166 [a] [b] 次長→社長 社内 辞令)

(35) 伊佐山：いやあ、今回の件ではいろいろとお世話になります。

郷田：こちらこそ、お世話になります。

(日③ P190 証券営業部長→社長 社外)

(36) 半沢：いままで長い間、お世話になりました。

富岡：こちらこそ、世話になった。

(日④ P372 主人公(次長)→監査次長 社内)

また、「お世話になる」は実際に相手から恩恵や世話などを受けていない場面でも使える。例えば、ビジネス文書あるいはビジネスメールの冒頭の「いつもお世話になっております」のような文頭挨拶は(33)、(35)の用法と同じように日頃相手から受けた恩恵を想定し、後に来る依頼や用事などを円滑にする機能を持っている。(34)は離職の場面ではいままで受け厚意に対し、感謝型表現の「ありがとう」と混在して使用する場面である。

3.4 その他の感謝表現

(省略表現としての) どうも、こちらこそ

上述の用例(1)のように、「どうも」は修飾語として使用されている。それに対し、省略表現としての使用も目立っている。「どうも」は副詞として感謝や謝罪などの挨拶語に添えて強調する意味がある。とくに後ろの省略する部分は曖昧で、前後の文脈を確認しないと具体的にどのような意味を指しているかを判断しにくい場合がある。「どうも」はいくつかの意味を持ち、後ろが感謝するか謝罪するかが曖昧で、一つ一つの場面で人物の行動や発言から読み取るしかない。

(37) 半沢：先日はどうも、どうぞ、こちらへ

(98)

竹下：この前の話が気になりまして。

(日① P167 主人公(課長)→社長 社外)

(38)古里：まったくあんたには負けたよ。

だが、気に入った。

半沢：それはどうも。

(日② P127 京橋支店次長→主人公(次長) 社内)

(39)郷田：本日は改めて、御社の買収提案についてお話をさせていただきたいとおもって
参りました。

瀬名：それはどうも。

心境の変化でも？

(日③ P275 社長→社長 社外 皮肉)

以上の3例のうち、用例(37)は半沢が出向先の竹下社長に対し、先日お世話になったという事実によって感謝の意を込めている。(38)は半沢が相手の自分に対する褒め言葉に軽く感謝する場面である。前者は「どうもお世話になります」、後者は「どうもありがとう／どうもありがとうございます」の省略表現であると考えられる。「どうもすみません」のような謝罪表現と思われる例が今回の調査では見られない。

また、(39)は皮肉の意を込めて「どうも」を使用している。

(40)郷田：本日はお忙しいところ、お時間をいただき申し訳ない。

瀬名：いいえ、こちらこそ。

(日③ P274 社長→社長 社外)

(41) 乃原：お忙しい中野渡頭取に、わざわざお時間を頂戴して恐縮ですねえ。

中野渡：帝国航空の件では何かとお世話になりました。

乃原：いや、こちらこそ。ただ、まだこれからですから。

(日④ P279 諮問機関リーダー→頭取 社外)

「こちらこそ」は「こちらこそ申し訳ない」「こちらこそお世話になりました」の省略で、相手の感謝に対するお返しの言葉として日常会話でも多用されている慣用表現である。

幸せ、嬉しい

(42) 森山：いまさらこんなことをいうのは恥ずかしいんだけど、こんな充実した仕事をさせてもらって幸せだと思う。

(日③ P351 営業企画部調査役→取引先の社長 (親友関係))

(43) 森山：ほんとうに、うれしいよ。

(日③ P351 営業企画部調査役→取引先の社長 (親友関係))

「幸せ / 嬉しい」は相手に感謝するときの自分の気持ちの表明である。(42)、(43)は親友に対して使用している。公の場合では使えないと考えられる。

4 中国の経済小説における感謝表現

4.1 「谢谢」の使用状況と分類

中国の経済小説の中で、「谢谢」を用いる例文が圧倒的に多い。88例で全125例の70.4%を占めている。中国語の日常会話では、「谢谢」は最も一般的な感謝表現であるが、他の定型表現「感谢」「多谢」の区別が曖昧で、お互いに置き換えて使用する場合も多い。以下は経済小説に出現する「谢谢」の使用状況を紹介し、それぞれの特徴を明らかにしていく。

「谢谢」の単独の使用

「谢谢」の単独の使用は日常会話でも多用されている表現であるため、社外、社内、私的会話のすべての場面で出現する。相手の好意や恩恵に対して返しのことばとして直接に感謝の意を表している。例文を以下に示す。

(44) 刘丰：大家辛苦了，周末没有休息，晚上开会讨论，尤其是老同志有家都不能回，谢谢。

(皆さんご苦労様、週末も休まず、夜は会議で、……ありがとう。)

崔国瑞：为了工作，应该的。

(仕事のために当然のことです。)

(中① P138 頭取→職員 社内)

(45) 朱鹏：我没什么事，就是打电话问问你。

(別に用事はないさ、電話で挨拶するだけだ。)

柯蓝：谢谢。

(ありがとう。)

(中③ P131 主人公→友人 私的会話)

(46) 吴芳：金总现在没时间，改天吧。

(金さんは今空いていない、別の日にしてください。)

朱鹏：那好吧，谢谢。

(そうですか。ありがとう。)

(日④ P21 主人公→上司 社内)

用例 (44) は上司が部下に感謝表現を通して慰労の念を示している。他に (45) のような同僚間の会話、(46) の上司への感謝が多く見られる。

中国語の「谢谢」は字面だけで敬意の高さが判断できない。日本語では「ありがとう」の敬体「ありがとうございます」を目上の人に使ったり、「お礼申し上げます」のような謙譲語で敬意を表わしている。中国語と日本語の同じ場面でも、(46) のような「谢谢」のひと言で済む場合が多く見られる。これはビジネス文書にも有する現象である (周 (2016))。

しかし、中国語の感謝表現の敬意の高さが全く変わらないとは言えない。敬意の表し方は感謝の繰り返し、人称代名詞・肩書で相手の身分を限定するなどの方法がある。次に例を挙げる。

「谢谢」の繰り返し

「谢谢」の繰り返しは相手への謝意を高める方法の一つで、日常会話、ビジネス会話の両方に見られる表現である。例文を以下に示す。

(47) 赵勇：谢谢介绍，我们回去看看楼书。

(説明ありがとう…)

白涛：谢谢参观我们的楼盘，谢谢。

(ウチの物件を見てくれてありがとう、ありがとう。)

(中② P177 販売員→客 社外 販売)

(48) 周大明：这话太对了！北州这方面的毛病特别大！刚才我对吴总说，朱总是个真正的业

务高手，而且极具人格魅力，大家都反映朱总带来了一阵春风……

(…朱さんは本当に業務のベテランで、人格的魅力も高くてまるで春風のように皆さんがいい評判してますよ。)

朱鹏：周总太过奖了！谢谢谢谢……

(周さん、とんでもないです。ありがとうございますありがとう…)

(中③ P23 支社長→主人公 社内)

用例 (47)、(48) では、話し手が二回「谢谢」を使っている。

(49) 朱鹏：义山，你是真的一心要为国献身了？也罢，我就陪你一路走到底，咱们共同迎接一个灿烂的出头之日！

(…そうか、なら最後までやり遂げてあげようか、一緒に輝く未来を迎えよう。)

王义山：谢谢朱总，谢谢……

(ありがとう、朱さん、ありがとう…)

朱鹏：你放心，你这个职位还会为你保留到最后一天，谁也抢不走，你放心做事好了。

(大丈夫だ、あなたの職位は最後まで保留するよ、誰も奪えない、安心して仕事するのがいい。)

王义山：朱总，唉……谢谢，谢谢……那我不打扰您休息了，有什么情况我会及时跟您汇报。

(朱さん、ありがとう…ありがとう、お邪魔しました。また何があったら即刻報告します。)

(中④ P229 部下→主人公 社内)

用例 (49) の場面では、話し手が四回「谢谢」を使っている。

上述の「谢谢」の繰り返しの例は、いずれも上司／客のような上位者に対して使っている。日本の話し言葉でたまに「ありがとう」などの感謝の繰り返しが行われることがあるが、敬意の高い表現とは言えない。過剰に使うと逆効果になる場合もある。それに対し、中国語の「谢谢」の繰り返しは相手への感謝の意を高める上で、ビジネス会話でも上位者に使える表現である。

「谢谢」＋代名詞／相手の肩書

「谢谢」の単独の使用の他に、「谢谢」＋代名詞／相手の肩書もビジネス会話で多く見られる表現である。例文を以下に示す。

(50) 骆伽：人们不肯转变，却会假装改变给你看。

(人は変えたりません。変えるふりをして見せるだけです。)

雷励行：人不変，只能换。

(人が変わらなければ、人を換えるがいい。)

谢谢你，我不得不说，你，很不一般，非常不一般。

((あなた、) ありがとう、あなたは大したものだ、それを言いたいだけだ。

本当に大したものだ)

(中② P23 上司→秘書)

(51) 赵勇：柳总，谢谢您。

(柳さん、(あなた、) ありがとう。)

柳庆元：不用谢，我应该做的。

(大丈夫、私のやるべきことだ)

(中② P184 販売員→社長 社外)

用例 (50)、(51) のような「谢谢」+二人称代名詞は相手を強調し、感謝の意を高める働きがある。人称代名詞は相手の地位によって変る。(50) は上司→部下で「你」を使い、(51) の聞き手は社長という上位者であるため、「你」より敬意の高い「您」を使用している。

それに対し、多くの人に対する感謝では

(52) 周锐：好，我的时间就到这里，下面有林佳玲小姐介绍实施和计划和服务体系，谢谢大家。

(よし、私はここまでです。次は林佳玲さんから実施計画とサービスの枠組みを紹介します。みなさん、ありがとうございました。)

(中① P119 主人公→職員 社内 会議)

のように「大家 (皆さん)」で相手の身分を一括して感謝の意を表す。

(53) 吴芳：哦，我会通知人事马上走流程，按部门总经理的待遇来执行。

朱鹏：谢谢吴总，不过按金总今天的意思，我的级别等同于副总裁，为什么不能干那个待遇来执行呢？

(呉さんありがとう、しかし金さんの今日のご意見に従うと…)

(中③ P101 主人公→上司 社内)

(53) のような「谢谢」+相手の「姓+肩書」の場合も多い。すべて上位者に対して使っている。日本語では相手の姓を省略して、肩書だけ呼ぶ場合が多い。また、上位者である相手の肩書と呼ぶのを避け、直接的に感謝の意を表す場合が多い。

「谢谢」+動作/事実

例文を幾つか挙げておく。

(54) 张立光：哦，是这样，那是我们的失误，不怪大家。那现在请大家将手机关闭或者调为振动，谢谢配合！

(ああ、そうか、それならこっちのミスだ、皆さんのせいじゃないんだ。それでは携帯の電源をオフにするかマナーモードにしてください、協力ありがとうございます。)

(中③ P212 上司→職員 社内 会議)

(55) 张大强：招投标暂停，请大家稍后，谢谢配合。

(競争入札は一旦中止です。少々お待ちください。ご協力ありがとうございます。)

(中② P394 主任→代表 社外 競争入札)

(54)、(55) の「谢谢配合」は「ご協力ありがとうございます」の意味である。相手もたらした利益に対する感謝表現を表明するという感謝のストラテジーが用いられている。日本語と中国語の感謝表現を比較すると、ビジネス日本語ではこのように感謝する旨を表明するのが多く（ご協力/ご支持/お引き立てありがとうございます）、敬意も高い（「ご協力いただきまして」のような尊敬語）。それに対してビジネス中国語では「谢谢」「多谢」のひと言で済む場合が多い。

(56) 王锴：生日快乐。

(誕生日おめでとう。)

骆伽：谢谢生日礼物。

((誕生日プレゼント) ありがとう。)

(中② P160 秘書→取引先の社長 社外)

(56) は「プレゼントをもらった」という事実に対して「谢谢」を使用している。

4.2 他の定型表現

「感谢」

「感谢」はもともとは書き言葉であり、日常会話で使うとやや固いと感じられるが、ビジネスの場合ではかなり限定された場合しか使わない。ビジネス会話のフォーマルな場面が多く、日常会話より「感谢」の登場が多くなると考えられる。今回の調査では、「感谢」の用例は17例で、13.6%を占めている。

(57) 赵洪河：各位代表，谢谢大家耐心等待。我宣布，北京交管局智能交通二期工程中轮招投标工作圆满完成，谢谢大家的积极参与，请等待进一步的消息和通知，再次感谢大家。

(代表各位、辛抱強く待っていただいて、ありがとう。(おまたせしまして申し訳ない。) …積極的なご参加ありがとうございます、新しい情報と通知をお待ちください。(皆さん)、改めて感謝いたします。)

(中② P324 競争入札の担当者→代表 社外 競争入札)

(58) 骆伽：我有话说。

方恩山：如果有不同意见，请遵照招投标流程申诉，北京智能交通二期工程招投标到此为止，感谢大家参与。

(…異議があれば、競争入札のルールと手順に従ってお申し立てください。皆さんのご参加ありがとうございます。)

(中② P391 競争入札の担当者→代表 社外 競争入札)

(59) 朱鹏：您好！我是北州集团的朱鹏，感谢您对我们工作的大力支持！

(こんにちは、私は北州グループの朱鹏です。こちらの業務をご支持いただきまして感謝いたします。)

方主席：我知道，你们那天的会开得很有意思啊，大家反映都不错。

(わかってるよ、前日の会議は有意義だったな。みんなの反響はいいよ。)

(中③ P224 主人公→主席 社外)

(60) 刘洪：从去年九月份你进我们集团到现在，已经有快一年的时间了。这段时间，张总还是为我们公司做了相当大的贡献的，无论是销售队伍的建立，销售流程的细化，还是整个市场的策划与架构，都提出了很多相当好的观点，有些还取得了

一定的成绩，所以，我个人对于张总的业务能力和市场的感觉是相当认可的。
 (…張さんは会社の業務に大いに貢献した、…張さんの業務能力と市場への
 嗅覚は認めるよ。)

张立光：这当然要感谢刘总给了我这个机会，没有明光这个平台，我个人再有能耐也是
 发挥不出来的。

(劉さんにこのようなチャンスを頂きまして感謝します。明光という舞台が
 なければ、私個人の能力では発揮できませんよ。)

(中③ P292 部下→社長 社内)

例文を見ると、用例 (57) (58) は競争入札の現場で、開催者が入札に参加する会社の
 代表に対する感謝である。(59) は「主席」という上位の指導者に対して、「ご支持ありが
 とう」のようなお世辞で上位者への配慮と尊敬を示している。(60) は社内の会議で上司
 である社長に対する感謝の言葉である。いずれも現場・会議のようなフォーマルな場面で
 「感謝」の機能は「谢谢」より限定され、はっきりしていると言えよう。

「感激」

「感激」は相手の好意や恩恵に対して「感謝と感動」の気持ちを表す時に用いる表現で
 ある。例文から見ると、フォーマルな場面で用いず、主に私的会話で出現している。例文
 を以下に示す。

(61) 骆伽：这是什么意思？

(これはどういうことですか？)

王锴：我们首先互相理解，找到共同的兴趣，在一步步变成合作伙伴，胖子不是一口吃
 出来的。

你们能来，我非常感激，今晚我请客

(…あなた達が来てくれて、非常に感激だ、今晚は私のおごりだ。)

(中② P112 社長→取引先の職員 社外)

(62) 周大明：请朱总你好好指导他该如何去做业务，那我这真是感激不尽啊。

(業務の方はきっちり指導してあげてくださいよ、それなら感激が尽きませ
 んな。)

朱鹏：周总都怕的人，我更搞不定啊，我今天做个旁观者好了。

(周さんの苦手の人なら、私は当然指導できませんよ。今日は傍観者でいま

す。)

(中③ P27 主人公→支社長 社内)

(63) 靳小萌：我总算得到问候了！感激之情如滔滔黄河水一泻千里呀！

(…感激の気持ちは黄河の水のように一瀉千里ですよ。)

朱鹏：这几天事太多了，改天请你吃饭。

(この数日は忙しい、今度おごるよ。)

(中③ P83 部下→主人公(上司) 社内)

以上の例はいずれも私的会話で、話し手が自分の謝意を強調して「感激」を使用している。

「多谢」

「多谢」の「多」は「多い」「大いに」の程度を表す副詞であり、相手への感謝を高めるような表現である。話し言葉では多用されるが、フォーマルな場合は「谢谢」を使うのが一般的で、私的会話では両者置き換えられる。例文を以下に示す。

(64) 李玉玺：我们不能违反超投标流程，但我可以负责地说一句话，只要中联拿出诚意，我们就愿意给中联机会。

(我々は競争入札のルールに違反できません。しかし、責任をもって申し上げます：中聯が誠意を見せれば、中聯にチャンスを与えることを保証します。)

柳庆元：多谢。

(ありがとうございます。)

(中② P213 社長→局長 社外)

(65) 韦奇峰：王总如果犹豫不决，站不稳立场，不妨直说。如果这样，北京交管局的订单，永嘉集团不但肉吃不到，骨头啃不着，喝汤也不可能。你得罪了中国惠康，我保证您今年一个项目都拿不到，不是在交通能源行业，而是所有行业。

(…中国惠康の気に障ったら、今年のプロジェクトは一つも手に入れられないつもりでいてください。…)

王锴：多谢韦总提醒，我没这个意思，永嘉集团与惠康合作多年，没有理由分道扬镳。

((韋さん) ご注意ありがとうございます。そんなつもりはありません。永嘉と惠康は長年業務提携してきたので、物別れの理由はありません。)

(中② P310 社長→社長 社外)

用例 (64)、(65) いずれも社外の場面であるが、両方とも面会の場面で使用されている。それに対して

(66) 周大明：明天我让司机送你去机场，晚上我得和这帮分公司的人喝酒，明早肯定起不来，不能送你了——这次多谢你了，老弟！
(…今回は感謝するよ、兄弟。)

(中③ P173 支社長→主人公 社内)

(67) 朱鹏：多谢章主任，给了我们很大的启发呀！谢谢谢谢……

((章) 主任、ありがとうございます。我々に貴重なヒントを与えていただきました。ありがとうございます。(繰り返し))

(中③ P270 主人公→主任 社外)

用例 (66) は同僚間の感謝である。(67) は「谢谢」の繰り返しと混在して使用している。

「重谢」

(68) 周锐：主任，这项目多亏您支持，必有重谢。

(主任、このプロジェクトはあなたのご支持のおかげです。必ず恩返ししますよ。(大いに感謝します))

张大强：怎么说？

(どうやって?)

周锐：老板还在商量。

(上はまだ鋭意検討中です。)

(中② P68 主人公→主任 社外)

「重谢」の例はわずか一例である。「重谢」の本来の意味は「大いに感謝」であり、とくに相手の恩恵や好意に対して物質的な返礼の承諾を示している。感謝の「恩返しの申し出」のストラテジーでしか使わないので、中国語で非常に特徴的な感謝表現であると言えよう。

4.3 他の感謝表現

今回の調査では「不好意思」「对不起」のような感謝の時に使う謝罪型表現が見られないが、他に日本語経済小説に出現する「おかげ」「お疲れ様」のような事実関係の陳述、慰労の念の感謝表現と類似する「多亏」「承蒙」「辛苦了」感謝表現などが見られる。例文を以下に示す。

(108)

(69) 金总：朱总，辛苦了。

(朱さん、お疲れ様です。)

朱鹏：为人民服务，为人民服务。

(中③ P67 上司→主人公 社内)

(70) 朱鹏：周总，高！

(周さん、さすがです。)

周大明：那还不是多亏你指点。

(あなたのおかげですよ。)

(中③ P163 支社長→主人公 社内)

(71) 李玉玺：承蒙柳总邀请，参观了中联公司

(柳さんのおかげで、中聯を見学しました。)

(中② P212 局長→社長 社外)

「辛苦」は「お疲れ様」と同じ意味で、同僚間に使うが、今回の調査ではわずか6例で希少である。特に日本の職場では「お疲れ様」「ご苦労様」がビジネス会話の挨拶に定着しているのとは比べ、それほど頻繁に見られない感謝表現である。用例(70)、(71)の「多亏」「承蒙」は「おかげさまで」の意味を有するが、一般の感謝型感謝表現と共起することとはなく、日本語のような皮肉の用法も見られず、偶然に見られる例である。

5 まとめと今後の課題

ここまでは日本語と中国語の経済小説における感謝表現を考察してみた。両方から多種類の感謝表現を確認し、場面や感謝の機能のバラエティが見られた。経済小説における感謝表現の全体像を把握するため、上述の分類に従って感謝表現の数と分類を表2にまとめてみる。

表2 日本語と中国語経済小説における感謝表現の分類と用例数

	感謝型			謝罪型		その他の定型表現			その他		計
日本語	ありがとう／ ありがとう がたい	感謝 する	礼を 言う	すみ ませ ん／ 申し 訳な い	恐縮 ／恐 れ 入る	おかげ／ おかげ さまで	お 世 話 に な る	お疲 れ様 ／ご 苦 労 様	嬉し い／ 幸せ	省略 表現	
	66	5	8	8	4	30	12	24	2	5	164
中国語	感謝型					謝罪型	その他			計	
	谢谢	感谢	感激	多谢	重谢		辛苦	承蒙	多亏／ 幸亏		
	88	17	4	6	1	なし	6	1	2	125	

表2を見ると、日中経済小説において感謝型感謝表現が一番多く、中国語の感謝型表現は全体に占める割合が高い。謝罪型感謝表現、省略表現は日本語経済小説特有の表現である。中国語の日常会話にも感謝の契機で「不好意思」のような謝罪の言語行動を取る場合もあるが、今回の調査では見当たらない。「おかげ」と「多亏／幸亏」、慰労の念を表す「お疲れ様／ご苦労様」と「辛苦」はそれぞれ類似する表現であるが、日本語の方は使用が多く、表現形式も中国語より豊富である。

謝意の深さを見ると、日本語は上下関係によって感謝の程度が変わってくるが、中国語の同じ場面では「谢谢」のひと言で済む場合が多い。

今回は日本と中国の経済小説における感謝表現の分類と出現数をまとめ、それぞれの使用傾向と機能を考察し、比較してみた。今後は各感謝表現のストラテジーと日本と中国それぞれの社会的、歴史的違いから、ビジネス会話における感謝表現を更に分析する必要がある。

注1：ダイヤモンド社は日本の経済・ビジネスなどの書籍と雑誌を扱う出版社である。

ダイヤモンド社主催の経済小説大賞・「ダイヤモンド経済小説大賞」が「城山三郎経済小説大賞」に改称し、2012年の第四回をもって終了したものの、2014年に「城山三郎賞」が創設された。

参考文献

赤堀 由紀子(1995)「日本語母語話者の感謝表現—ストラテジーの種類とその使い分けを中心に—」『待

兼山論叢』29 大阪大学文学部

岡本 真一郎 (1991) 「感謝表現の使い分けに関与する要因」 『愛知学院大学文学部紀要』第6号

岡本 真一郎 (1992) 「感謝表現の使い分けに関与する要因 (2) — 「ありがとう」と「すみません」タイプはどのように使い分けられるか—」 『愛知学院大学文学部紀要』第22号

秦 秀美 (2002) 「日・韓における感謝の言語表現ストラテジーの考察」 『日本語教育』114 日本語教育学会

佐久間 勝彦 (1983) 「感謝とお詫び」 『講座日本語の表現3 話しことばの表現』 筑摩書房

周 乗風 (2016) 「ビジネス文書における感謝表現の日中対照研究」 『國學院大學日本語教育研究』第7号 國學院大學日本語教育学会

李 華勇 (2014) 「日本語と中国語における「感謝の言語行動」の対照研究」

大阪大学 博士論文 <http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/handle/11094/50573>